

平成 30年 07月 09日

国土交通大臣 殿

## 地域型住宅グリーン化事業 適用申請書

### 【平成30年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。  
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称

山形雪国の家

グループの名称

山形雪国の家を創る会

直近採択グループ番号

06-0165-0114

(グループ代表者)

代表者名

川越 功

代表者印

代表者所属先

株式会社SRホーム

代表者所在地

山形県山形市嶋北3丁目2-21

代表者電話番号

0236-82-7828

(グループ事務局)

事務局事業者名

株式会社SRホーム 楽々ホーム事業部

事務局担当者名

菅原 健太

印

事務局郵便番号

990-2161

事務局所在地

山形県山形市大字漆山1730-1

事務局電話番号

023-666-3555

事務局FAX

023-666-3556

事務局担当者E-mail

sugawara.k@rarahome.co.jp



B. 平成30年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数 (必須)	長寿命型	長期優良住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		3	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	3	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	1	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		1	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	1	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
	長寿命型	長期優良住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		2	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	2	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	1	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		0	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
	高度省エネ型	認定低炭素住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)			戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)		戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)		戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)			戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)		戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸		
		認定低炭素住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)			戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)		戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)		戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)			戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)		戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸		
性能向上計画認定住宅		経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)			戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)		戸			
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)		戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)			戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)		戸			
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸			
性能向上計画認定住宅		未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)			戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)		戸			
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)		戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)			戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)		戸			
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸			
ゼロ・エネルギー住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限125万円)			戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)		戸				
			上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)		戸				
		その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限125万円)			戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)		戸				
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸				
ゼロ・エネルギー住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限140万円)		3	戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	3	戸				
			上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	1	戸				
		その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限140万円)			戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)		戸				
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸				
C. 平成30年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数		今年度要望する棟数及び面積		棟	/			
		その内9月までに交付申請が確実にできる棟数及び面積		棟	㎡				
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール (必須)	事務局に各施工構成員から申し込み順に当初1棟を配分し、同じ施工構成員から複数棟申し込みがある場合は、施工構成員に一巡してから申し込み順に再配分とする。								
E. 平成29年度の執行状況 (必須)	長寿命型(長期優良住宅)								
	採択戸数	3	戸	交付申請戸数	3	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	3	戸
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)								
	採択戸数		戸	交付申請戸数		戸	完了実績(竣工予定含む)戸数		戸
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)								
	採択戸数		戸	交付申請戸数		戸	完了実績(竣工予定含む)戸数		戸
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)									
採択戸数	2	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸	
優良建築物型									
採択棟数		棟	交付申請戸数		棟	完了実績(竣工予定含む)棟数		戸	
採択床面積		㎡	交付申請床面積		㎡	完了実績(竣工予定含む)床面積		㎡	





















1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) <b>山形雪国の家</b>	(地域型住宅供給対象地域) <b>山形県全域・宮城県全域</b>
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) <b>山形雪国の家を創る会</b>	(結成年) <b>2012 年</b>
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	<b>06-0165-0114</b>	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取り組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定		
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	東北地方の高齢化社会に伴い、安心・安全に暮らせるよう配慮した住宅造りを行い、住宅所得者の将来を見据えられるように、積雪に考慮し、耐震等級2以上の性能に加え、寒暖の差を省エネに配慮しながら、外皮断熱性能を有する住宅を提供する。	○
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	山形雪国の家は、東北地方特有の気候に対応すべく、夏季の多湿に対する通風性、冬期間の厳冬に快適な生活を確保できる住宅造り。	○
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	山形雪国の家は、敷地形状や日射遮蔽及び雪対策等の屋根形状を目指す。	○
④①～③の背景	山形雪国の家を創る会として。	○
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		
イ. 効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備		
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①-1 用材の寸法規格化	■ 行っていない □ 行っている → 内容:	
①-2 使用建材の統一	■ 行っていない □ 行っている → 内容:	
①-3 標準仕様の設定	■ 行っていない □ 行っている → 内容:	
②-1 建材・資材調達のコスト削減	□ 行っていない ■ 行っている → 内容: 建材・建設資材は、出来る限り流通構成員から購入しコストダウンに努める。	
②-2 調達事務の合理化	■ 行っていない □ 行っている → 内容: 事務の合理化に向けて検討を行う。	
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	□ 行っていない ■ 行っている → 内容: 今後検討委員会を設け、生産合理化の準備委員会を設ける。	
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	□ ない ■ ある → 内容: 事務局は、木材、製材、集材材、流通、住宅設備に関する情報を収集し施工構成員へ情報提供する。又施関連以外の構成員から施工、設計、その他の構成員に情報の協力を要請する。	
b		
① グループの信頼性向上に向けた施工基準	□ ない ■ ある → 内容: 地盤調査に基づく基礎形状及び構造、断熱性能をわかりやすい基準を作成し、施工構成員に周知を図り施工主様への説明に努める。	
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	□ ない ■ ある → 内容: 基礎筋筋検査、躯体検査、外皮断熱検査を実施する。又施工主様へ写真を提示し説明に努める。	
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	■ ない □ ある → 内容: 山形雪国の家を創る会では、見積の標準化を図るべく検討を行う。	
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	■ ない □ ある → 内容: 山形雪国の家を創る会の施工現場のイメージ看板やノボリを設置すべく検討を行う。	
c		
① 週休2日制の導入の取組	■ ない □ ある → 内容:	
② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	■ ない □ ある → 内容:	
③ 社会保険への加入	□ ない ■ ある → 内容:	
④ 安全及び健康の確保のための取組	□ ない ■ ある → 内容:	
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	123	

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 山形雪国の家	(地域型住宅供給対象地域) 山形県全域・宮城県全域
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 山形雪国の家を創る会	(結成年) 2012 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0165-0114	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。  
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備

【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄	
a	① 住宅履歴情報の蓄積		
	①-1 内容・蓄積の共通ルール	■ ない □ ある → 内容: 今後施工構成員により検討会を開催し協議を行う。	
	①-2 情報サービス機関の活用	■ ない □ ある → 内容: 今後施工構成員により検討会を開催し協議を行う。	
	①-3 履歴情報蓄積の確認手法	□ ない ■ ある → 内容: 住宅の履歴情報は、事務局へ提示するよう努める。	
	② メンテナンス基準	②-1 点検の共通ルール	■ ない □ ある → 内容: 今後施工構成員により検討会を開催し協議を行う。
		②-2 補修の共通ルール	■ ない □ ある → 内容:
		②-3 点検補修実施の確認手法	■ ない □ ある → 内容:
	③ 住まいの管理	③-1 住まい管理勉強会の実施	■ ない □ ある → 内容: 今後施工構成員により検討会を開催し協議を行う。
		③-2 DIY体験会等の実施	□ ない ■ ある → 内容: 年1回程度DIY体験研修会へ積極的に参加する。
		③-3 その他の相談会等の実施	□ ない ■ ある → 内容: 各施工構成員の規格による。
④ 維持管理委員会等の設置	■ ない □ ある → 内容: 今後施工構成員により検討会を開催し協議を行う。		
⑤ その他の維持管理の手法	□ ない ■ ある → 内容: 山形雪国の家において30年間の維持保全計画を作成し、実施するよう努める。		
b	① グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール	■ ない □ ある → 内容:	
	② 過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施	■ ない □ ある → 内容:	
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。			

エ. グループの技術力の向上

【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a	① 未経験工務店等への施工技術研修会等の開催	□ ない ■ ある → 内容: 未受講構成員に対して省エネ技術講習会の開催案内の情報を提供し、早めの受講を促す。
	②-1 品質管理のための共通ルール	■ ない □ ある → 内容: 今後施工構成員により検討会を開催し協議を行う。
	②-2 上記共通ルールが守られていることの確認手法	■ ない □ ある → 内容:
	③-1 需給計画の策定	■ ない □ ある → 内容:
	③-2 技術力向上のための中長期的な計画	□ ない ■ ある → 内容: 施工委員会において予定物件の資材調達を行い、仕様を照らし合わせ中長期に合理的な策定方法を探る。
	④ ③に基づく業種ごとの合理化の取組	□ ない □ ある → 内容:
	b	①-1 省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数
①-2 省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数		昨年度までの終了者数 11 今年度の参加目標人数 3
② 省エネ技術講習会への参加促進のための取組		□ ない ■ ある → 内容: 特定非営利活動法人「環境ネットやまがた」及び「建築士会」等が主催の講習会への参加を促す。
c	① 新たな技術等の導入	■ ない □ ある → 内容:
	② 新たな技術等の開発	■ ない □ ある → 内容:
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 山形雪国の家	(地域型住宅供給対象地域) 山形県全域・宮城県全域
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 山形雪国の家を創る会	(結成年) 2012 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0165-0114	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与		
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a	① 地域材利用に関する共通ルール(必須)	主要構造材について、 柱：合法木材、杉集成材(合法木材証明制度・県産材「やまがたの木」認証制度のうち、やまがた県産材集成材) 桁・梁：合法木材、やまがたの木集成材(合法木材証明制度・県産材「やまがたの木」認証制度のうち、やまがた県産材集成材) 土台：合法木材(合法木材証明制度)を使用する。但し合法木材は海外の材料も含むことができる。
	② 地域材利用の1棟当たりの割合(必須)	<input type="checkbox"/> 50%未満 <input checked="" type="checkbox"/> 50%以上 <input type="checkbox"/> 80%以上
	③ 標準的な地域材の使用部位(必須)	主要構造材 土台： <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している 柱： <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している 梁・桁等の横架材等： <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している 羽柄材 間柱、根太、垂木等： <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している 造作材 枠材、廻縁等： <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している 板材 壁板、床板等： <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している
	④ 地域材の流れ(フロー図)などグループの取組に関する補足説明	①海外原木 ⇒ 製材集成材 ⇒ プレカット ⇒ 流通 ⇒ 施工 ②海外原木 ⇒ 製材集成材 ⇒ 流通 ⇒ 自社プレカット(施工) ③山形県産材原木 ⇒ 製材集成材 ⇒ 製材 ⇒ プレカット ⇒ 流通 ⇒ 施工 ④国内原木 ⇒ 製材集成材 ⇒ プレカット ⇒ 流通 ⇒ 施工
b	①-1 地域材在庫把握の仕組	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容：
	①-2 地域材価格の共有の仕組	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容：
	② グループ全体における地域材の需給予測	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容： 今後施工構成員により検討会を開催し協議を行う。
c	①-1 畳の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容： 今年度の使用予定枚数：700枚(※1畳換算)
	①-2 和瓦の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容：
	①-3 襖の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容： 今年度の使用予定枚数：350枚(※3×6換算)
	①-4 障子の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容： 今年度の使用予定枚数：260枚(※3×6換算)
	②-1 その他地域の伝統的な素材の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容：
	②-2 その他地域の伝統的な意匠の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容： 梁の表し
d	① 地域の伝統的なデザインを継承する取組	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容：
	② 地域の住まい方の継承につながる取組	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容：
	③ 地域の街並み形成へ寄与する取組	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容：
	④ 和の住まいの要素を取入れた取組	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容：
	その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	主要構造材(柱・梁・桁・土台)の過半以上に地域産材を使用し、柱は105mm角以上及び通し柱は120mm以上のものを使用する。
カ. その他		
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
	東日本大震災の復興に資する取組	宮城県内構成員による情報提供又は要請がある場合、施工・流通等各構成員が協力するよう努める。
	平成28年熊本地震の復興に資する取組	

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域 (必須)	(地域型住宅の名称) 山形雪国の家	(地域型住宅供給対象地域) 山形県全域・宮城県全域
2. グループの名称・結成年月 (必須)	(グループの名称) 山形雪国の家を創る会	(結成年) 2012 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号 (必須)	06-0165-0114	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み		
キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴 ※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。 ※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。		
<p style="text-align: center;">【高度省エネ型の特徴】</p> <p>◀ 認定低炭素住宅・優良建築物 ▶</p> <p>イ) 構造 : 木造軸組工法(構造材柱・梁・桁・土台の過半を地域材を使用する)                  * 耐震等級 : 2等級</p> <p>ロ) 建物断熱仕様                  * 等級4を上回る断熱仕様                  * 一次エネルギー消費量計算をする。                  * 開口部 : 全て断熱サッシとする。                  * 床下断熱 : 厚さ65mm以上とする。</p> <p>ハ) 高効率な設備機器                  * 冷暖房設備(高効率エアコン)                  * 照明(白熱灯を使用しない)                  * 換気設備(ダクト式第三種換気設備)                  * エコ給湯(JIS効率3.0以上)                  * ヘッダー配管                  * 節湯蛇口2箇所以上</p> <p>◀ ゼロエネルギー住宅 ▶</p> <p>* 上記 イ)・ロ)・ハ)の項目                  * 創エネ(太陽光発電システム)</p>		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。